

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 刑事司法と福祉		授業の種類 (講義・演習・実習)	授業担当者 濱田 新	科目コード 3019
回数 15回	時間数 (単位数) 30時間	配当学年・時期 1年 後期	必修 ・ 選択	
【授業の目的・ねらい】 刑事司法や少年司法、更生保護制度等について理解するとともに、再犯を繰り返す高齢者や障害者等の現状や課題について理解する。また、犯罪・非行をした者を支援する更生保護領域において、社会福祉士に求められる福祉的支援の在り方について理解する。				
【授業全体の内容の概要】 更生保護制度の担い手や関係機関・関係団体との連携、医療観察制度等、更生保護制度を体系的に理解し、更生保護分野の実践を考察すると共に、地域生活定着支援センターやリーガルソーシャルワーカーの機能や役割について理解する。				
【授業修了時の達成課題 (到達目標)】 1. 刑事司法や少年司法の概要について説明ができる。 2. 更生保護制度の概要について説明ができる。 3. 更生保護の担い手や関係機関との連携等について説明ができる。 4. 医療観察制度や犯罪被害者支援について説明ができる。 5. 地域生活定着支援センターの役割について説明ができる。				
【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】 1. 刑事司法における近年の動向とこれを取り巻く社会環境① 2. 刑事司法における近年の動向とこれを取り巻く社会環境② 3. 刑事司法① 4. 刑事司法② 5. 少年司法① 6. 少年司法② 7. 更生保護制度① 8. 更生保護制度② 9. 更生保護制度③ 10. 医療観察制度① 11. 医療観察制度② 12. 犯罪被害者支援① 13. 犯罪被害者支援② 14. 地域生活定着支援センターの役割① 15. 地域生活定着支援センターの役割② 後期末試験				
【使用テキスト・参考文献】 最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 10 刑事司法と福祉 (中央法規出版株式会社) 社会福祉小六法2024 令和6年版 (ミネルヴァ書房)		【単位認定の方法及び基準】 授業態度、試験、出席状況から総合的に評価し、単位認定を行う。下記の記載内容も留意すること。 ※1 試験の評価基準：6割以上の成績にて合格。 ※2 出席の評価基準：欠席が多い場合には、前期試験の受験資格が得られない。また、単位認定も行わない。		